

## 放射線診断科・放射線治療科

栗山啓子 田中英一

放射線部門は、放射線診断科、放射線治療科および診療放射線技師で構成され、協力して診療に根差した臨床研究を行っている。

放射線診断科は画像診断と IVR(Interventional Radiology)を実施しており、おもに 64 列マルチスライス CT2 台、1.5T・MRI 装置 2 台、アンギオ CT を用いた臨床研究をおこなっている。画像診断では胸部 CT 診断の研究を中心に学会報告や論文発表をおこなっている。

放射線治療科では外部放射線治療装置（リニアック）を 2 台、高線量率小線源治療装置（remote after loading system : RALS）を 1 台保有しており、これらを用いた臨床研究をおこなっている。特に、小線源治療の研究に関しては、国内のみならず世界をリードできるように積極的に学会報告や論文発表をおこなっている。2014 年度は、常勤医師 2 名、非常勤医師 2 名、研究医として歯科医師 1 名も加わり、研究をおこなった。小線源治療の対象疾患としては、再発婦人科腫瘍、新鮮子宮頸癌、前立腺癌、舌癌などの頭頸部癌、乳癌などである。平成 25 年度から、文部科学省科学研究費（研究責任者：吉田謙）による画像誘導小線源治療の研究をすすめている。

### 【2014 年度研究発表業績】

A-0

Yoshida K, Yamazaki H, Nakamura S, Masui K, Kotsuma T, Akiyama H, Tanaka E, Narumi Y, Yoshioka Y. : Longitudinal analysis of late vaginal mucosal reactions after high-dose-rate brachytherapy in patients with gynecological cancer.

Anticancer Res 2014;34:4433-8.

Yoshida K, Yamazaki H, Nakamura S, Masui K, Kotsuma T, Akiyama H, Tanaka E, Yoshioka Y. : Role of novel risk classification method, Prostate Cancer Risk Index (PRIX) for clinically localized prostate cancer after high-dose-rate interstitial brachytherapy as monotherapy.

Anticancer Res 2014;34:3077-81.

Yoshida K, Yamazaki H, Takenaka T, Kotsuma T, Yoshida M, Masui K, Yoshioka Y, Narumi Y, Oka T, Tanaka E. : High-dose-rate interstitial brachytherapy in combination with androgen

deprivation therapy for prostate cancer: are high-risk patients good candidates? *Strahlenther Onkol* 2014;190:1015-20.

Yoshida K, Yamazaki H, Nakamura S, Masui K, Kotsuma T, Akiyama H, Tanaka E, Yoshioka Y. : Comparison of common terminology criteria for adverse events v3.0 and radiation therapy oncology group toxicity score system after high-dose-rate interstitial brachytherapy as monotherapy for prostate cancer. *Anticancer Res* 2014;34:2015-8.

Masui K, Yoshida K, Takenaka T, Kotsuma T, Tanaka E, Tatsumi K, Yamazaki H, Yamada K. : A novel minimally invasive technique of high-dose rate image-based intracavitary brachytherapy for endometrial cancer using a single fine and soft, flexible applicator. *Anticancer Res* 2014;34:2537-40.

Yoshida K, Yamazaki H, Takenaka T, Kotsuma T, Miyake S, Mikami Ueda M, Yoshida M, Masui K, Yoshioka Y, Uesugi Y, Shimbo T, Yoshikawa N, Yoshioka H, Aramoto K, Narumi Y, Yamada S, Tatsumi K, Tanaka E. : Preliminary results of MRI-assisted high-dose-rate interstitial brachytherapy for uterine cervical cancer. *Brachytherapy*. 2015;14:1-8.

Kanayama N, Isohashi F, Yoshioka Y, Baek S, Chatani M, Kotsuma T, Tanaka E, Yoshida K, Seo Y, Suzuki O, Mabuchi S, Shiki Y, Tatsumi K, Kimura T, Teshima T, Ogawa K. : Definitive radiotherapy for primary vaginal cancer: correlation between treatment patterns and recurrence rate. *J Radiat Res*. 2015;56:346-53.

Matsui H, Omiya H, Takami K, Mishima H, Ban K, Kodama Y, Kuriyama K, Sekimoto M. Pulmonary metastasis of an ovarian granulosa cell tumor resected 11 years before. *Kyobu Geka*. Sep;67(10):904-7,2014

Yamaoka Y, Yamamura J, Masuda N, Yasojima H, Mizutani M, Nakamori S, Kanazawa T, Kuriyama K, Mano M, Sekimoto M. Primary chest wall abscess mimicking a breast tumor that occurred after blunt chest trauma: a case report. *Case Rep Med*. 2014;2014:620876. doi: 10.1155/2014/620876. Epub 2014 Feb 9.

A-3

松井 浩史, 大宮 英泰, 高見 康二, 三嶋 秀行, 伴 建二, 児玉 良典, 栗山 啓子, 関本 貢嗣臨床経験 卵巣顆粒膜細胞腫術後 11 年目に行った肺転移切除 胸部外科 67 卷 10 号 Page904-907, 2014

杉本 彩, 中水流 正一, 山田 拓哉, 上平 朝子, 細見 尚弘, 三田 英治. 急性膵炎に伴う脾動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した HIV 感染者の 1 例 膵臓 29 卷 3 号 Page673, 2014

B-1

Yoshida K, Yamazaki H, Takenaka T, Kotsuma T, Masui K, Uesugi Y, Shimbo T, Yoshioka H, Tanaka E, Narumi Y : High-dose-rate interstitial brachytherapy as monotherapy with hormone therapy for high-risk prostate cancer.The 13rd ESTRO, Vienna, Austria, April, 2014

Yamazaki H, Yoshida K, Nakamura S, Narumi Y, Tanaka E, Yoshioka Y. : Role of Novel Risk Classification Method Prostate Cancer Risk Index (PRIX) for Clinically Localized Prostate Cancer after High-dose-rate Interstitial Brachytherapy as a Monotherapy. The 15<sup>th</sup> Asian Oceanian Congress of Radiology, Kobe, September, 2014

B-2

Kuriyama K. : New Classification of Adenocarcinoma of the Lung Imaging in Hawaii Maui 2014, March

Kuriyama K., Kodama Y. : Minimally Invasive Adenocarcinoma of the Lung on Thin-section CT. RSNA 2014 Chicago, 2014, November

B-3

栗山啓子 : 肺腫瘍の日常診療と鑑別 肺野 (末梢) 型肺癌 第 6 回池添メモリアル・胸部画像診断セミナー 東京都 2014 年 8 月

栗山啓子 : 肺腺癌の IASLC/ATS/ERS 分類 CCVR 大阪市 2014 年 9 月

小西佳之：楽しく働くために、第 16 回日本医療マネジメント学会学術総会シンポジウム 10、岡山、2014 年 6 月

#### B-4

増井浩二、吉田謙、古妻理之、武中正、上田麻里、田中英一、山崎秀哉、山田恵：  
外部照射と MRI based 画像誘導組織内照射の線量合算による後方視的線量解析。第 27 回日本放射線腫瘍学会、横浜、2014 年 12 月

山崎秀哉、吉田謙、田中英一、岡聖次、中村聡明、山田恵：PRIX for Localized Prostate Cancer After HDR Brachytherapy as Monotherapy 第 27 回日本放射線腫瘍学会、横浜、2014 年 12 月

古妻理之、吉田謙、武中正、増井浩二、巽啓司、上田麻里、辻本豊、田中英一：  
原発性子宮頸癌に対する Image-based intracavitary brachytherapy 第 27 回日本放射線腫瘍学会、横浜、2014 年 12 月

片山 大輔、栗山 啓子、本行 秀成、藤原 拓也、井上 敦夫、高村 学、細見 尚弘、崔 秀美、宮崎 宏一、木下 竜弥：前立腺癌から腫瘍塞栓性肺微小血管症(PTTM)による肺高血圧症を呈した 1 剖検例。日本医学放射線学会秋季臨床大会 神戸市 2014 年 09 月

高見康二、大宮英泰、小河原光正、栗山啓子、真能正幸、中森正二、関本貢嗣：肺癌手術における肺切除マージン洗浄細胞診に関する検討。日本肺癌学会総会 京都市 2014 年 11 月

大宮英泰、高見康二、中森正二、関本貢嗣、栗山啓子、真能正幸：cI 期非小細胞肺癌手術例における術前 FDG-PET に関する検討。日本肺癌学会総会 京都市 2014 年 11 月

岡田敦彦、北山亜樹、乾 真有、室屋隆伸、梶原敏郎、福本真司、松本佳久、大竹野浩史、小西佳之、栗山啓子：拡散強調画像を用いた相対温度測定の試み、第 68 回国立病院総合医学会、横浜、2014 年 11 月

北山亜樹、岡田敦彦、乾 真有、室屋隆伸、梶原敏郎、福本真司、松本佳久、大竹野浩

史、小西佳之、栗山啓子：Computed DWI の四肢領域への適応、第 68 回国立病院総合医学会、横浜、2014 年 11 月

前川則彦：術後腰椎 CT 撮影時に発生したアーチファクトの改善、第 68 回国立病院総合医学会、横浜、2014 年 11 月

細川 徹、北川智彦、中田正明、小西英一郎：災害時における野外 X 線撮影所の設置についての検証、第 20 回日本集団災害医学会総会学術大会、東京、2015 年 2 月

高見康二、大宮英泰、小河原光正、栗山啓子、真能正幸、中森正二、関本貢嗣：肺癌手術における肺切除マージン洗浄細胞診に関する検討。日本肺癌学会総会 京都市 2014 年 11 月

大宮英泰、高見康二、中森正二、関本貢嗣、栗山啓子、真能正幸：cI 期非小細胞肺癌手術例における術前 FDG-PET に関する検討。日本肺癌学会総会 京都市 2014 年 11 月

## B-6

古妻理之、田中英一、上田麻里、辻本豊、巽啓司、吉田謙、増井浩二、武中正：子宮頸癌に対する Image-based intracavitary brachytherapy 第 307 回日本医学放射線学会関西地方会、大阪、2014 年 6 月

藤原拓也、栗山啓子、井上敦夫、片山大輔、本行秀成、大宮英泰、高見康二：色素注入による肺腫瘍術前 CT ガイド下マーキング。日本肺癌学会関西支部会 大阪市 2015 年 2 月

萩原清貴、高見康二、大宮英泰、中森正二、関本貢嗣、児玉良典、森 清、真能正幸、栗山啓子：検診を契機に発見された肺芽腫の 1 例。日本肺癌学会関西支部会 大阪市 2015 年 2 月

岡田敦彦、北山亜樹、乾 真有、室屋隆伸、梶原敏郎、福本真司、松本佳久、大竹野浩史、小西佳之、栗山啓子：拡散強調画像を用いた相対温度測定の基礎的検討、第 23 回国立病院療養所近畿放射線技師会学術大会、大阪、2014 年 10 月

北山亜樹、岡田敦彦、乾 真有、室屋隆伸、梶原敏郎、福本真司、松本佳久、大竹野浩史、小西佳之、栗山啓子：Computed DWI の手関節領域への適応、第 23 回国立病院療養所近畿放射線技師会学術大会、大阪、2014 年 10 月

前川則彦、井上賀仁、細川 徹、福本真司、松本佳久、大竹野浩史、小西佳之：術後腰椎 CT 撮影時に発生したアーチファクトの改善、第 23 回国立病院療養所近畿放射線技師会学術大会、大阪、2014 年 10 月

細川 徹、西村和英、小西佳之、北川智彦、中田正明、小西英一郎：災害時における簡易野外撮影についての検証、第 58 回日本放射線技術学会近畿部会学術大会、神戸、2015 年 1 月

#### B-8

栗山啓子 放射線診断医と放射線治療医の連携のあり方を考える。 パネリスト 大阪先端画像医学研究機構第 9 回定期講演会 大阪市 2014 年 12 月

小西佳之：災害医療における診療放射線技師の役割、国立病院機構近畿グループ平成 26 年度新採用職員部門別研修、大阪、2014 年 4 月

小西佳之：放射線治療室（リニアック室）の放射線防護の考え方、国立病院機構近畿グループ平成 26 年度放射線治療研修（実地研修）、大阪、2014 年 11 月

小西佳之：組織とリーダーシップ、国立病院機構近畿グループ平成 26 年度診療放射線技師研修、大阪、2015 年 1 月

大竹野浩史：日常業務に必要な法的な管理事項及び立入検査への対応、国立病院機構近畿グループ平成 26 年度放射線治療研修（実地研修）、大阪、2014 年 11 月

福本真司：放射線科における医療情報システム、国立病院機構近畿グループ平成 26 年度診療放射線技師研修、大阪、2015 年 1 月

前川則彦：CT 検査における造影理論 基礎について、国立病院療養所近畿放射線技師  
会学術部 CT W.G.講習会、大阪、2014 年 6 月

西村和英：FPD の現状と使用経験について、第 21 回国立病院近畿放射線技師長協議会  
総会 春季研修会、大阪、2014 年 5 月